



第18回まちだ男女平等フェスティバル開催 2/2・3・4

テーマ「輝こう！一人ひとりがその人らしく」

3日間の参加者は のべ2,600人を超えました！

男女平等推進センターの登録団体(46団体)を中心に立ち上げた実行委員会で7月から準備を進め、当日は 実行委員会企画6、登録団体企画21、協賛企画3を開催。個性豊かな登録団体パネル展示も好評で、のべ2,600人の参加を得て盛況のうちに終了しました。その一部を紹介します。

<メイン企画>

<実行委員会企画>

「依存症ってなあに？」



水澤 都加佐さん
(株)アスク・ヒューマン・
ケア取締役 研修相談セ
ンター所長

アルコールばかりでなく、ギャンブル、薬物、ゲーム、買物、セックス…これら様々な依存症は、男女どちらにもある。本人の意志の問題ではなく**病気**であり、「**遺伝的要素**」の場合もあり、医療機関での治療が必要である。それをやっている時は高揚感が得られ、止めると落ち込み日常生活に支障が出る。依存症は家族への影響が大きい。家族は我慢することで「**耐性**」をつけ「**共依存**」になっていく。家族だけでは治せない。医療とともに断酒会などの「**自助グループ**」に参加することが必要。仲間が黙って自分の話を聴いてくれる、仲間の話を聴き自分の問題に気づく、孤独から救われる、仲間から支えられ仲間を支える、自尊心が高まる…。こうして回復のプロセスを歩んでいく。(講演より)

女性のためのオープン法律相談

露木肇子さん(弁護士)

前半は、DV から離婚に至った事例(仮)の法律解説、後半は、参加者の質問(書面または口頭)に丁寧に答えていただきました。役立つ情報を得られたと大変好評でした。

あなたらしく生きるための 大人の絵本セラピー

鈴木由香さん(絵本セラピスト)

絵本の読み聞かせを聞きながら、心の動きを書き出し皆と共有することで、夢や大切なことに気づいた講座でした。



あなたにとってサザエさん一家は理想の家庭ですか？

本田由紀さん(東京大学大学院教育学研究科教授)



政府が家族の在り方を指示する「**家庭教育支援法案**」について学びました。三世代同居のサザエさん一家を理想と持ち上げ、個人の尊重や男女平等で日本民族は絶滅するという思想の危険性、三世代同居は育児と介護のダブル負担につながりかねないとの指摘に納得。

<登録団体企画>

春を呼ぶ♪歌声喫茶



八条院暉子内親王の輝かしい生涯



講談 哀しみの母子像



「タブレット」をシニアライフに活かそう



男女平等推進センターから

女性のための就職準備セミナー

「面接突破のための ビジネスマナー講座」

実施日：2018年2月20日（火）

報告

第1部では面接時のマナー（身だしなみや話し方）について学び、第2部では現在の再就職を取り巻く環境と心構えについてセミナーを行いました。

参加者からは「話がとても分かりやすく良かったです」「ポイントを絞った内容がとてもためになりました」等の感想をいただきました。

男女平等推進センターでは、このほかにも様々な事業を行っています。詳細については公式 Facebook や町田市ホームページをご覧ください。

第10回 町田市仕事と家庭の 両立推進企業賞

2018年3月8日（木）、町田市役所内市長公室にて、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む市内の2つの事業所を表彰しました。

- ・櫻井三樹子社会保険労務士事務所
- ・株式会社町田予防衛生研究所

取組の詳細は、広報まちだ、町田市ホームページ、取り組み紹介パンフレットで紹介いたします。



シネマでトーク

素敵な映画をみて、あれこれ

楽しく話ませんか！

無料

場所：フォーラム3階 活動室

*4月10日（火）14:00～117分

「博士の愛した数式」

2006年（日）

数学を媒介に綴られる美しくピュアな愛の物語が評判を呼び第一回本屋大賞に輝いた小川洋子の同名ベストセラーを、寺尾聰、深津絵里主演で映画化した感動作。

*5月8日（火）14:00～97分

「迷い道」2006年（米）

結婚を目前にして揺れ動くヒロインが、自分の両親の結婚にまつわる秘密を紐解く中で、自らの答えを導き出していく姿を描くロマンティック・コメディ。名作映画「卒業」がストーリーの重要なモチーフとして登場。

*6月12日（火）14:00～103分

「おじさんと草原の小学校」

2010年（英）

世界最高齢の小学生としてギネス記録を持つキマニ・マルゲの実話を映画化した人間ドラマ。84歳にして小学校に入学した彼の勉強に懸ける情熱や若い級友たちとの交流を描く感動作。

蔵書の紹介

「男尊女子」 酒井順子著 集英社

【センターでは、図書の出や
DVD・ビデオの視聴ができます！】

「男尊女子」とは「女は男を立てるもの、女は男を助けるもの」という感覚に生きがいを感じる女子のことで作者によるぴったりの造語である。ところで日本のジェンダーギャップ指数は144ヶ国中114位と低いまま。制度的、法律的には男女平等に近づいているのに…。その辺のことを「男尊女子」という切り口で考察している。そう、そう、とうなずき苦笑しながら読んで自分の中の「男尊女子」度を意識する。私の場合、子どもの頃、家庭を丸く収めるための母の「チエ？」が思い浮かぶ。子どもの目にも父より賢い母が父に対し、簡単に引き下がる場面をなぜ？と疑問に思っていた。しかし、今の私は同じような事ばかりしているのではないか。感覚的にも受け継いだものを変えろことは難しい。まず、意識しないと。(M・O)

※新刊図書には最近のベストセラー「漫画 君たちはどう生きるか」吉野源三郎原作 羽賀翔一画マガジンハウスなど、多数ありますので、ぜひ、おいでください。

「女性悩みごと相談」 電話番号：042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。

DVやセクハラ、夫婦間問題など一人で悩まないで相談してみませんか。

相談時間…月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00

水（第3水曜日を除く）13:00～20:00

（日・祝日、年末年始はお休みです）



「法律相談」 予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日：毎月第2・第4 木曜日 14:00～16:00

※祝日の場合はお休みです。

